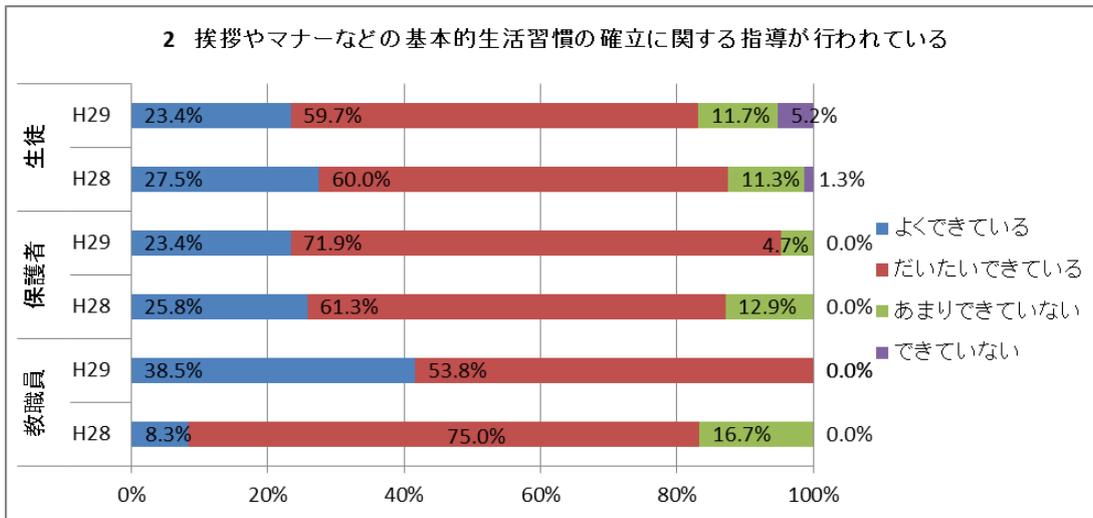
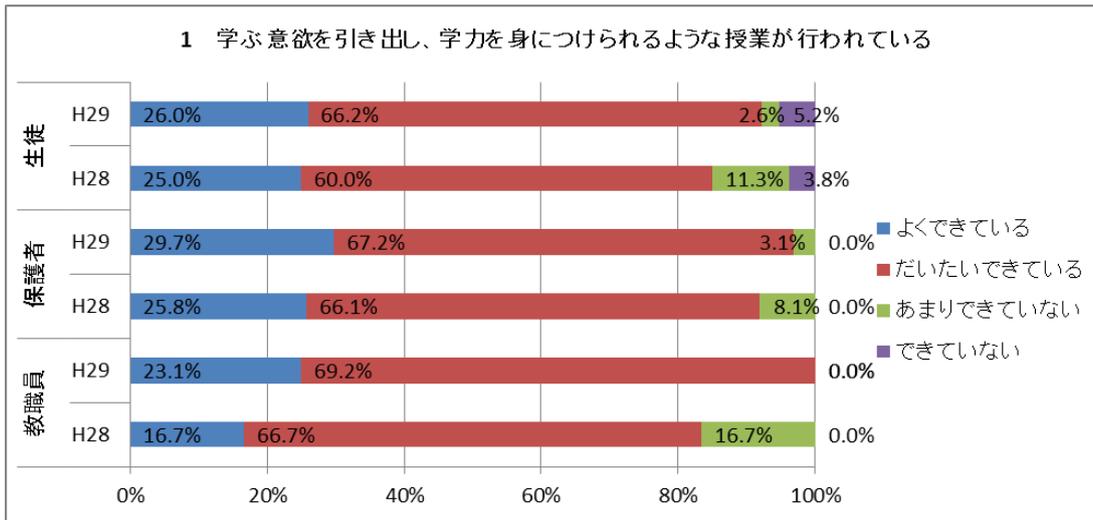


平成29年度「学校評価」集計結果について

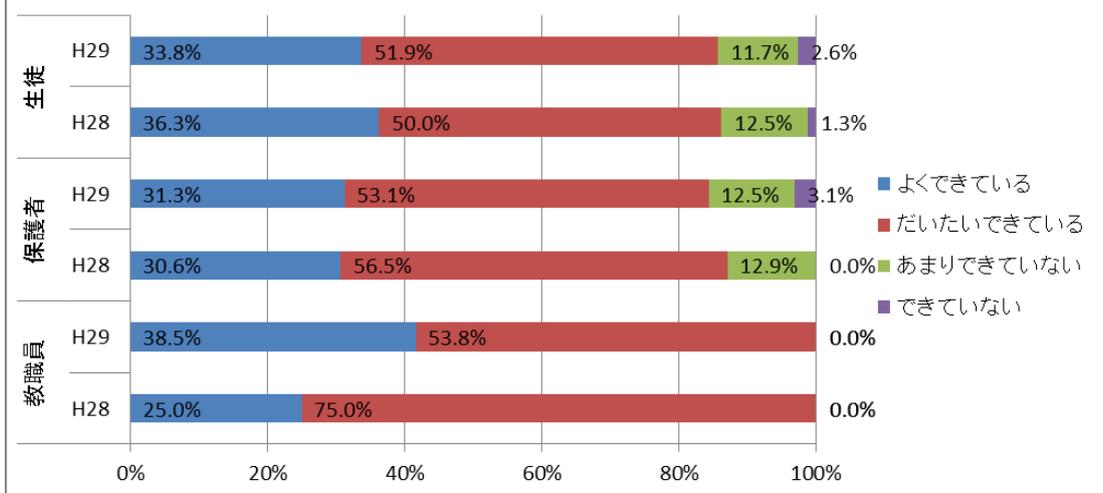
宮城県石巻北高等学校飯野川校

(4) 調査項目

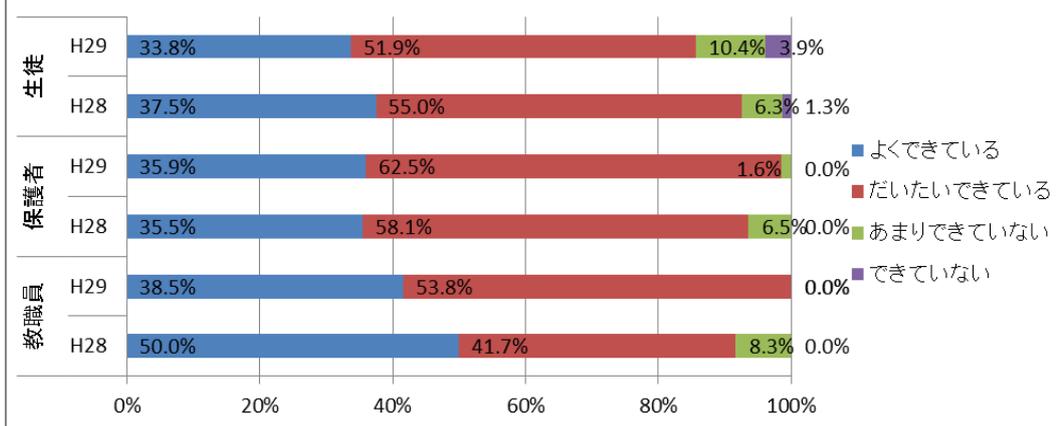
調査項目ごとに、生徒、保護者、教職員の回答を、昨年度の結果と比較してグラフにまとめたものである。



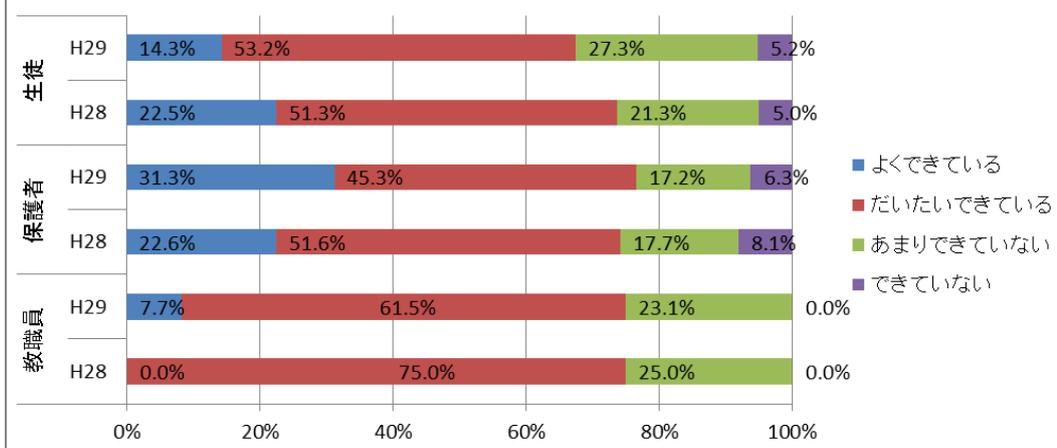
### 3 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている



### 4 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じしてくれる体制ができている



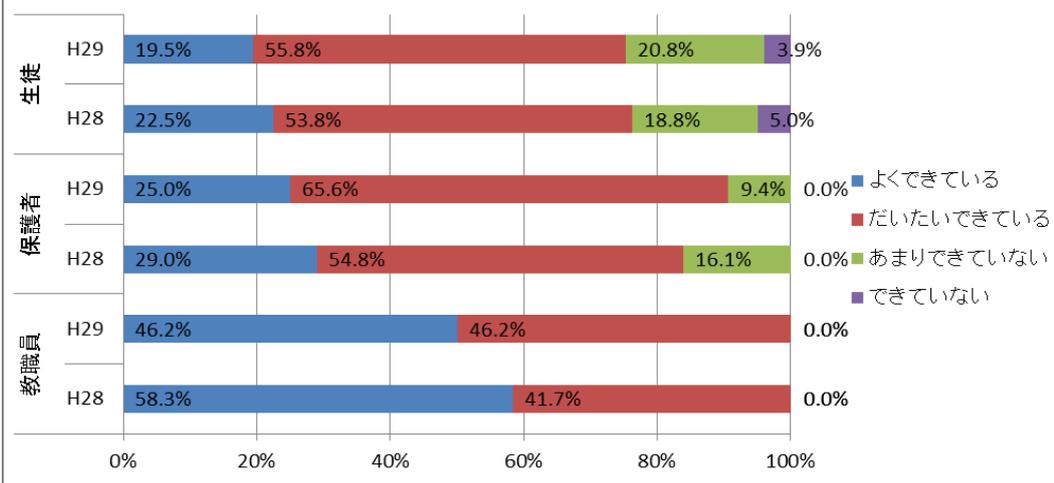
### 5 部活動は活発に行われている



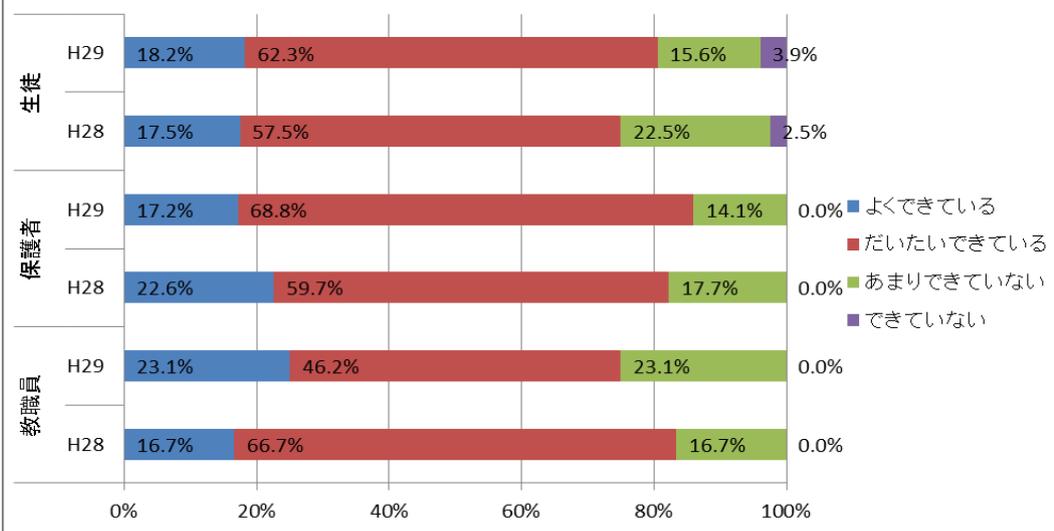
6 生徒会活動は活発に行われている



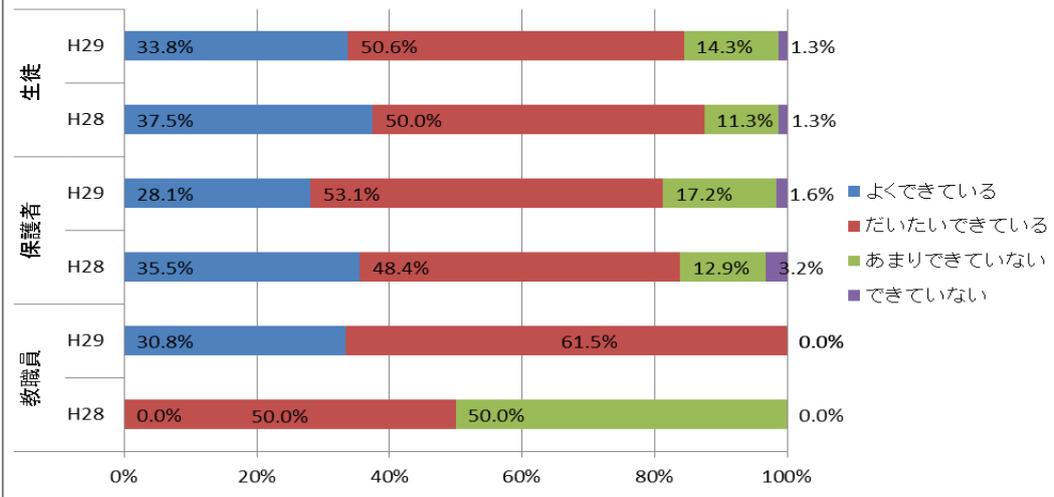
7 有意義な学校行事がある



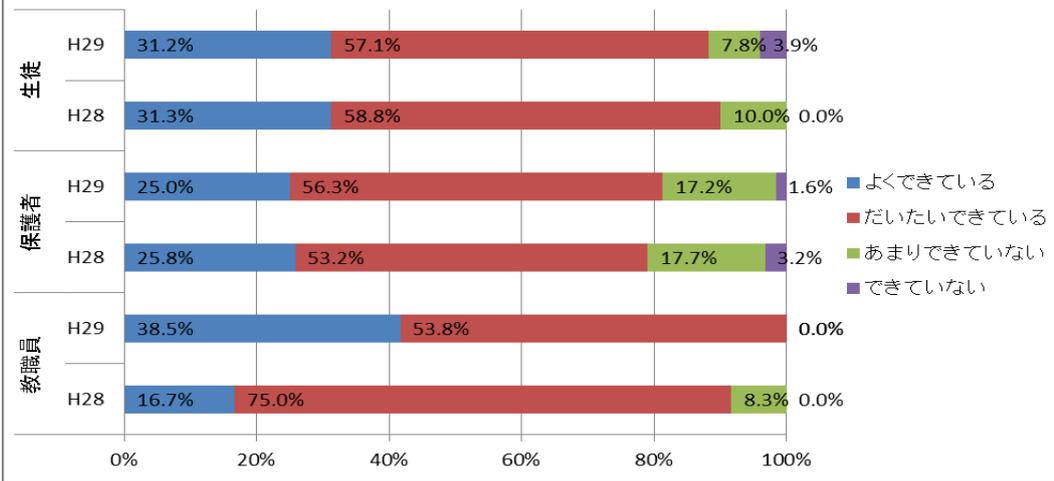
8 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる



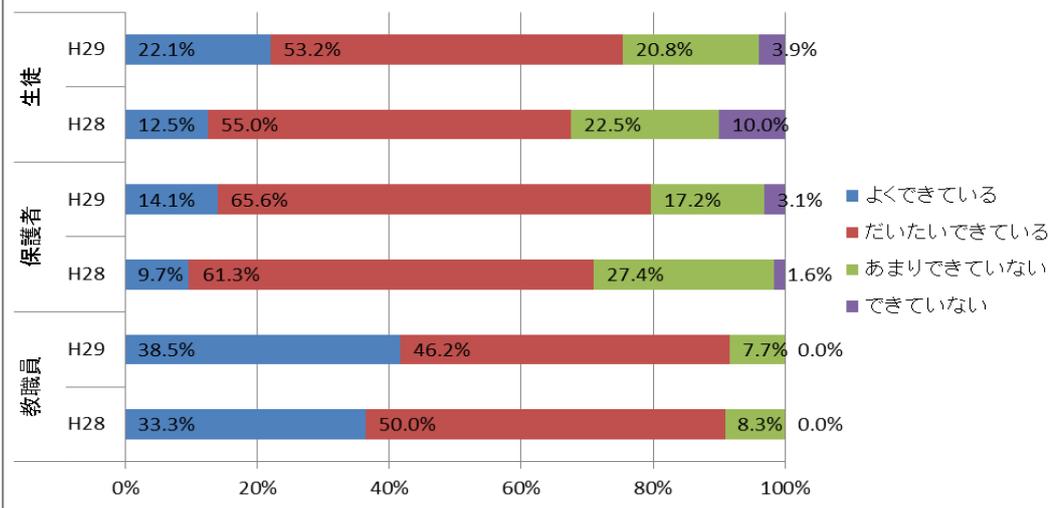
9 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている



10 学校使いなどによって、学校の情報は適切に伝えられている



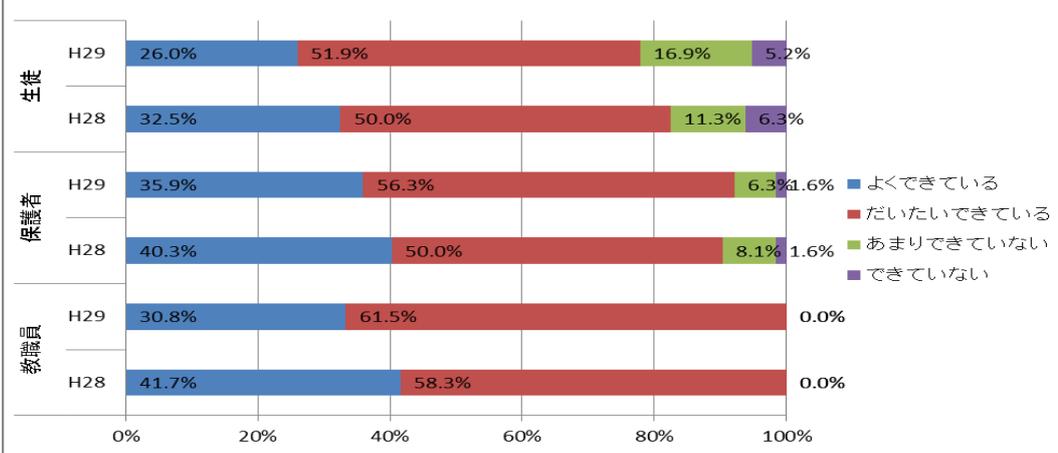
11 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている



12 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる



13 学校生活は充実している



## 5. 結果の概要および考察

### (1) 全体

○保護者対象のアンケートでは、概ね前年比で総合的にポイントを上げており、教職員一丸となった基礎基本の習得の徹底や特色ある取り組みをはじめとした様々な試みが評価されていると考えられる。

○生徒対象のアンケートでは、肯定的な評価が 80%を超えているものの、前年比でポイントを下げている項目が多く、検証と改善策を立てる必要がある。

○特に学習指導に関し、肯定的評価割合が前年比でポイントを上げており、特に保護者においては100%近くになっている。継続した研究授業や授業評価アンケートの取り組みがこのような評価につながっていることがうかがえる。

### (2) 項目

○質問項目(11)「施設整備」について、生徒、保護者および教職員において前年比でポイントを上げている。今年度から新たな校舎環境になったことに伴い、テニスコートをはじめ周辺設備の様々な整備状況が評価につながっていることが示唆される。

○質問項目(12)「いじめ対応」について、生徒、保護者および教職員において前年比でポイントを上げている。教職員一丸となった早期発見および対応がこのような評価につながっていることが考えられる。

○質問項目(8)「特色ある学校作り」について、生徒および保護者において前年比でポイントを上げている。学校外学修やステップアップインターンシップなど新しい特色ある取り組みが評価されているとうかがえる。

○質問項目(9)「防災教育」について、教職員からの肯定的な評価が前年比で40%以上高くなっている。適切な避難方法が教職員に広く周知されるようになったことが示唆される。

○質問項目(2)「生徒指導」および質問項目(6)「生徒会活動」について保護者、教職員ともに前年比でポイントを上げている。前年度に引き続き規律に関するきめ細かな指導や生徒が指示される前に自分で活発に動くための仕掛けを作ったことが評価されていると考えられる。

○質問項目(13)「総合満足度」について、保護者に関してはポイントを上げている一方、生徒と教職員に関して前年比でポイントを下げている。個々の質問項目において概ね向上している点も鑑み、より充実させるために必要な点を検討する必要がある。

### (3) 年次比較・推移

・生徒・保護者ともに、前年度よりも肯定的割合が100%である項目が増えている。全般的に学校としての取り組みが活性化していることが評価されていると考えられる。

・生徒において、今年度の2年次の肯定的割合が非常に高かった。三修制の取り組みを開始した2年次の生徒はこれまでに比べかなり増えており、このような諸活動が高評価に繋がっている可能性がある。

・生徒において、2年次～4年次まで、当該生徒の前年度よりも肯定的に評価している割合が10%近く高まっている。本校のきめ細かな指導が個々の生徒にとって月日が経過するにつれて理解が深められていることがうかがえる。

・生徒において、今年度の1年次の肯定的割合が他の年次に比べて低い。保護者においては他の年次と同程度であるため、初年次の生徒にとってより学校生活を充実させるための方法を検討する必要がある。